

## 平成 28 年度 3x3 日本選手権大会都道府県大会 支援金の交付について

### 【目的】

3x3 日本選手権大会の更なる普及拡大を図るため予選大会の出場するチームを増かせ、予選大会の競技力レベルの向上に精力的に取り組む都道府県バスケットボール協会(以下、PBA)へ大会開催支援金を交付する。

### 【対象】

下記の条件を満たした 3x3 日本選手権大会の都道府県大会(予選大会)を行い本大会に派遣を行った上位 **5PBA**。

なお、該当 PBA が 6 件以上である場合は予選大会へより多くの出場チームを獲得した PBA へ交付する。また、都道府県ごとの人口比を考慮し、別紙の通り都道府県にポイントを割り振り、一定の優位性を持たせるものとする。

※詳細は別紙①参照

### 【交付条件】

- ①OPEN/MEN・WOMEN、U18/MEN・WOMEN の全 4 カテゴリーの大会を実施すること
- ②各カテゴリー16 チーム以上が出場していること(計 64 チーム)
- ③出場した全選手が TeamJBA の 3x3 競技者登録およびFIBA Planet 登録が確認できること
- ④FIBA EventMaker を使用していること
- ⑤第 3 回 3x3 日本選手権大会へ 4 カテゴリーを派遣すること

### 【交付金額】

一律 20 万円

### 【提出書類】

大会終了後に支援金申請書、大会報告書、決算報告書、領収書のコピー、参加者一覧(TeamJBA より抽出)を提出すること

### 【提出期限】

平成 28 年 2 月 13 日(月)必着

※当支援金の交付は、平成 28 年度単年での実施とし、翌年度以降については平成 28 年度状況を見て再検討の上、決定するものとする。

\* 別紙①

チーム募集数より順位を決定する際、各都道府県在住人口の差によるチーム募集の難易度を考慮するべく、3x3 競技者の対象となる層の人口を一覧にして、人口に応じた「ポイント」を設定した。申請時は下記の表を参照し、ポイントを参加チーム数と合算した数値(4 カテゴリー合計チーム数+ポイント)にて順位を確定する。

【計算例】

東京都 Open/Men18 チーム、Women16 チーム、U18/Men16 チーム、Women16 チーム  
鳥取県 Open/Men16 チーム、Women16 チーム、U18/Men16 チーム、Women16 チーム  
を募り、大会の実施および申請を行った場合。

東京都:18+16+16+16+0 ポイント=66 、 鳥取県:16+16+16+16+4 ポイント=68  
⇒1.鳥取、2.東京 の順位が付けられる。

【人口比ポイント一覧】

順位	都道府県	人口 単位：千人	ポイント
1	東京都	18,165	0
2	神奈川県	12,165	
3	大阪府	11,741	
4	愛知県	10,029	
5	埼玉県	9,643	
6	千葉県	8,191	
7	兵庫県	7,289	
8	北海道	7,016	
9	福岡県	6,775	
10	静岡県	4,837	
11	茨城県	3,842	
12	広島県	3,720	
13	京都府	3,470	
14	宮城県	3,106	
15	新潟県	2,995	
16	長野県	2,729	
17	岐阜県	2,674	
18	栃木県	2,608	
19	群馬県	2,588	
20	岡山県	2,532	
21	福島県	2,517	
22	三重県	2,391	
23	熊本県	2,338	
24	鹿児島県	2,156	

順位	都道府県	人口 単位：千人	ポイント
25	沖縄県	1,928	4
26	滋賀県	1,900	
27	山口県	1,809	
28	奈良県	1,799	
29	愛媛県	1,799	
30	長崎県	1,785	
31	青森県	1,700	
32	岩手県	1,655	
33	石川県	1,522	
34	大分県	1,517	
35	山形県	1,455	
36	宮崎県	1,440	
37	富山県	1,382	
38	秋田県	1,308	
39	香川県	1,273	
40	和歌山県	1,245	
41	山梨県	1,097	
42	佐賀県	1,094	
43	福井県	1,030	
44	徳島県	984	
45	高知県	942	
46	島根県	890	
47	鳥取県	745	

※人口：10～39歳の合計値

※現在5対5を含めたバスケットボールの競技者登録していない層もターゲットとなる為、比較数値は在住人口としている。